

停電に備えて ～ブラックアウトからの学び～

平成30年9月6日に発生し、全道各地に多大な被害を与えた「北海道胆振東部地震」及び「ブラックアウト」から約4年の歳月が経過しているが、当時、特に「ブラックアウト」は留萌市に対しても大きな影響をもたらしました。

今回、ブラックアウト（大規模停電）がもたらした影響を振り返るとともに、停電発生に備えて、日ごろから出来る取り組みを紹介します。

■ブラックアウトとは

地域全体が停電になる大規模停電のことをいい、当時、北海道胆振東部地震が引き金となり、北海道全域で大規模停電が発生しました。

■ブラックアウトによる市への主な影響

停電の発生から復旧に至るまで遅いところで約40時間程度要しましたが、その間、市内で次のような影響がありました。

- ・集合住宅の上層階など一部世帯で断水が発生
- ・停電により商店の営業が中止
- ・食料品や日用品を求めて、営業中の商店に人が殺到

■停電に備えて日ごろから出来る取り組み

いつ発生するか分からない停電は、特に冬場だと暖が取れず凍えてしまうなど、場合によっては命に関わる可能性があります。

電気を必要とせず、停電時にも使える物資を各ご家庭で用意しておき、いざ停電が発生しても慌てず、冷静に行動できるように日頃からの備えを万全にしておきましょう。

停電時に有効な備蓄品の例

- ・飲食料品（人数×3日分以上）
- ・カセットコンロ ・懐中電灯
- ・モバイルバッテリー
- ・ポータブルストーブ など

